



集落支援員だより vol.46



第4回柱島講座（専門家派遣事業）



7月に引き続き、10月15日（土）に県の「専門家派遣事業」を活用しての「第4回柱島講座」が柱島供用会館において開かれました。

午前中は、島の高齢化と人口減少に伴い、柱島にひとりでも島出身者やその関係者を呼び戻そうと、島民の皆さんに空き家の住環境「住める・住めない」に関する情報整理を行っていただきました。また島の災害時での危険箇所を再認識するため、皆さんには地図上に書き込むなどの情報共有もしていただきました。

午後からは、今後、様々な島情報発信の重要なツールとなる「柱島公式ラインアカウント」について、運営委員を中心に、千々松講師から島外に居住される島出身者への普及手段やノウハウ、活用方法について、先進地域の事例などを交えながら紹介していただきました。



柱島公式ライン

島は気持ちや心をリセットしてくれる癒しの場



写真掲載許可



写真掲載許可

今年の6月に引き続き、10月も島外からのボランティアを募り、島民と島の清掃活動を通じての交流を深めることを目的とした「柱島一周農道」の環境美化活動が行われました。

今回は「柱島に行こう会」と「柱島自治会」が中心となり、午前中にかけて五ヶ所の担当グループに分かれて作業が行われました。

参加者の中には、岩国市の環境保全を目的とした団体名「Earth Clean 活動の会」のメンバーの皆さんもボランティアとして参加されていました。会の代表者である下松理恵さんからは、「今自然環境問題が自分たちの身に降りかかっており、『地球をきれいにして行こう!』と旗揚げし、我々大人も一緒に考えながら、小さなお子さんたちにもその大切さを伝え、今後も地域の環境問題について、少しでも解決・解消につながればと思っています」とのことでした。

広島市安芸区矢野町からは、「自分の親が柱島出身で、今回の公募を知って親子で参加させていただきました。私にとってはかけがえのない島なので、参加できて良かったです」とのことでした。

今回の島外からのボランティア参加者は33名、島民をあわせて約60名とのことでした。

皆さん、柱島がとってもきれいになりました！ 本当にお疲れ様でした！

